

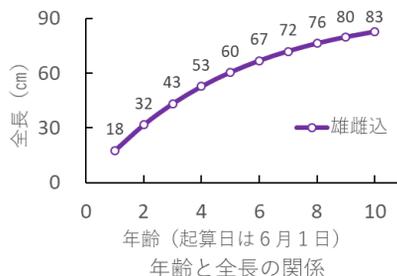
# キアンコウ（地方名：あんこう）

## 1 生態

- ・北海道以南の日本沿岸に広く分布し、福島県沖では主に水深50～200mに生息しています。産卵期に水深30m付近まで接岸します。
- ・成熟全長は、雄が約43cm、雌が約68cmで、産卵期は4月から遅くとも8月と推定されています。
- ・主に魚類やイカ、タコ類を食べます。

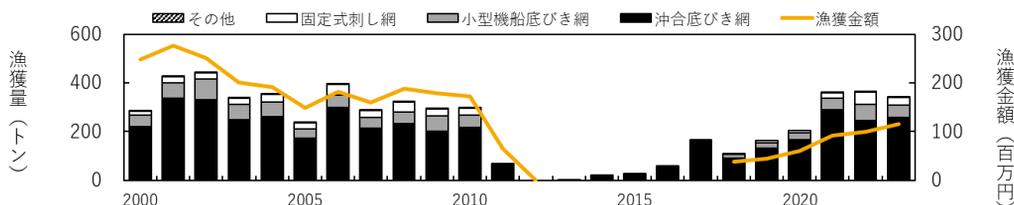


\*「令和5（2023）年キアンコウ太平洋北部の資源評価」により右図を作成



## 2 漁業に関する情報

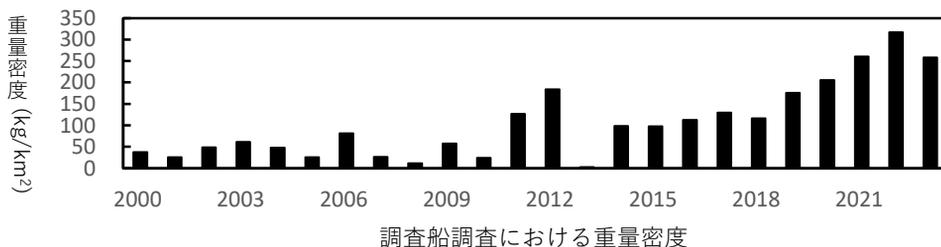
- ・底びき網、刺し網で周年漁獲されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は341トン、金額は115百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2013年（平成25年）9月から再開されています。



漁業種類別漁獲量と漁獲金額の推移 \*2013～2017年まで相対取引のため金額データ無

## 3 資源の状態

- ・資源の水準：高位、資源の動向：減少
- ・調査船調査の結果では、震災後、キアンコウの資源は増加し、高い資源水準が維持されていると考えられます。



調査船調査における重量密度

## 4 資源管理の取組み

- ・国が作成する資源回復計画（～2011年度）に基づき、沖合底びき網漁業及び小型機船底びき網漁業において、保護区（4～6月）が設定され、2012年度以降は資源管理指針・資源管理計画体制の下で同様の管理策が行われています。